

令和8年7月末現在 前月比  
世帯数……2,861戸 (+ 8)  
男 性……3,597人 (+ 6)  
女 性……3,875人 (+ 5)  
合 計……7,472人(+11)

発行／莊原コミュニティセンター  
出雲市斐川町莊原3835 (電話)72-4600 (FAX)72-4602

No.228  
2026.9.18  
(令和8年)

# 響き

つながる莊原 笑顔の未来  
活かそう人を歴史を資源を

8/7  
(金)

8/21  
(金)

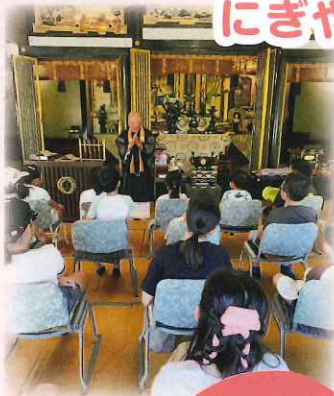
## 夏休みこども広場

にぎやかに、ときどき静かに…



こども部

女性クラブ  
「やまももの会」



ちょっと  
緊張…



地域の子どもたちとふれあいたいと始めた「夏休みこども広場」も、今回で3年目の開催となりました。

初めての試みとして、宗玄寺と観音寺のご住職に協力をしていただきました。ご住職さんのお話を聞いたり、座禅体験に挑戦したりしました。ほとんどの子が座禅は初めての体験でしたが、冷静に取り組むことができました。

コミセンに戻りカブラ(積み木を高く積み上げる)競争をしました。個人戦はもちろん、チーム戦でも集中し、声を掛け合っていました。

クッキングはゼリーとマフィン作りを足立祐美さんに教わりました。涼しそうなゼリーとカラフルなマフィンができました。

今回は、莊原地区社会福祉協議会、莊原地区青少年育成協議会、食のボランティア斐川ひまわりの会、更生保護女性会莊原支部、中学生ボランティアのみなさんに協力いただき、無事に終えることができました。

子どもたちはもちろん、関わってくださったみなさんにとっても有意義な夏の日の思い出になりました。



まだまだ  
積みあが～!



たくさん  
食べてね!



いただきます!





# 羽根盆踊り

## 荘原コミセン子ども盆踊り教室



『羽根盆踊り』は、戦国時代からある伝統的な民俗芸能で、出雲市の無形民俗文化財に指定されています。一度途絶えたのですが「羽根盆踊り愛好会」として復活され、愛好会の皆さんが子ども盆踊りを指導

しはじめてから20年経ちました。

今年は過去最高となった91名の荘原小学校の子どもたちと、8名の中学生指導ボランティアが参加。大人のスタッフを合わせると100人を超える大きな活動に広がりました。また、小学校で行う羽根盆踊りの学習との取り組みも進み、学校と地域がタイアップした素晴らしい活動となっています。



8/8  
(土)

### 出雲神話祭りに53名参加 (小学生48名、中学生5名)

羽根盆踊り愛好会の皆さんと一緒に、センターステージで伝統の盆踊り『羽根盆踊り』を披露。出雲市内に伝わる地域ごとの盆踊りの代表として多くの市民の皆様に見守られながら踊りました。夜7時から、様々な参加団体約400名の踊り手とともに、くにびき中央通りを約1時間『出雲盆踊り』で練り歩きました。歩行者天国の多くの人からは、大勢の子どもたちが踊る姿に感嘆の声があがっていました。



8/15  
(土)

### 荘原夏まつり花火の夕べに91名参加 (小学生84名、中学生7名)

大勢の来場者で賑わった夏まつり。練習の成果を発揮する一番のステージです。帰省した大人や練習には加わらなかった子どもたちも飛び入りで参加し、年々大きくなる踊りの輪。来場した皆さんの温かい声と拍手で大いに盛り上がりました。

「羽根盆踊り愛好会」の皆様、8名の中学生ボランティアの生徒さんには、7月23日から8月中旬まで計7日間と、踊りの本番まで指導にあたっていただきました。本当に世話になりました。



出雲神話祭りの参加者

前期

7/27~7/29  
(月) (水)

後期

8/24 8/25  
(月) (火)

## 小中学生サマースクール

庄原地区青少年育成協議会



毎年恒例となったサマースクール。今年の参加者は、前後期あわせて延べ142名が5日間地元教員OBの先生方と一緒に学習しました。

前期の小学生は、部屋から溢れそうな人数でした。子どもたちは6名の先生に質問しながら各自の課題に取り組みました。中学生は、予定の2時間を超えて閉館前まで熱心に取り組む生徒もいました。

7/26  
(日)

## 子どもクッキング教室

庄原地区青少年育成協議会

場所 JAひかわ アグリキッチンふぁみ〜ゆ

おいしそう  
でしょ!!

今回のメニューは、玉子パンとウインナーパン、ヨーグルトブルーベリーソース、果物スムージー。パン生地をこねる作業は、くっついたりまとまったりした触感を楽しみながら、とても楽しかったようです。先生方にアドバイスをもらいながら、賑やかに楽しく美味しく作りました。今年度は、あと2回実施します。次の開催を楽しみにしてください。

6/20  
(土)

## 子どもお花教室

庄原地区青少年育成協議会

6月20日(土)から毎月1回、小学1年生から6年生までの22名と先生3名(建部さん、池淵さん、酒井さん)でスタート。花との語らいを大切に、お花ノートに毎回の感想を書き留めながら活動しています。

毎年参加している子どもたちは、慣れた手つきで花と向き合いながら生けていきます。初めての子は、先生方や先輩に助けをもらいながら、花を選んだり花との語らい方を教えてもらったりしながら生けています。年に2回、文化祭の作品展示と2月末の展示会に向けてがんばります。

5/8  
(金)

## なかよしおはなし会

庄原地区青少年育成協議会



毎月第2金曜日に開催しています。今年は5月8日からスタート。絵本の読み聞かせはもちろん、楽しい工作やゲームなどを交えて本に触れる楽しさを伝えています。3名の先生が毎回楽しい企画を考えていらっしゃいます。



## なかよしおはなし会

開催日時：毎月第2金曜日

15時45分から

※次回は11月13日(金)です

開催場所：庄原コミセン おいでませ館

☆乳幼児から小学3年生くらいまで、どなたでも参加できます!

※ 参加申し込みは不要です

※ 開催日時および開催場所は変更する場合があります

お問い合わせ 庄原コミセン 電話72-4600まで





8/15  
(土)

# 「花火最高！」未来へつなぐふるさとの夏

莊原夏まつり実行委員会

莊原夏まつりは、地域や企業の皆様からの協賛金をもとに、商工会青年部莊原支部を中心とした多くのボランティアの皆様によってつくられています。中学生ボランティアの皆さんも参加し、夏祭りを支えてくれました。温かいご支援とご協力が、莊原の夏まつりを支えています。

今年のテーマは「未来へつなぐふるさとの夏」。子どもから大人まで約5千人の方が来場され、会場は笑顔と歓声に包まれました。

ステージでは、地域の子どもたちによる元気いっぱいの演技をはじめ、吹奏楽やダンス、よさこい、太鼓、ミュージシャン、盆踊り、様々な団体が出演。日頃の練習の成果を披露し、会場を大いに盛り上げました。

そして夏まつりを彩ったのは、夜空を染め上げた花火。会場のあちこちから「きれい！」「最高！」という声が聞かれました。たくさんの笑顔と夏の思い出が生まれ、ふるさとの夏を未来へつないでいく、そんな一日となりました。



迫力あるオープニング演奏で会場を魅了！



元気いっぱい、  
かわいい園児の  
よさこい！



熱唱&ものまねで  
会場を沸かせました！



鳴子と掛け声で会場は大盛り上がり！



キレイキレイのダンスで  
盛り上げました！



息の合った  
ダンスを披露！



力強い太鼓の音が響きました！



夏の夜を彩る、地域の盆踊り！

6/5  
(金)

## 笹巻き作り

自主企画事業



## ふれあい交流部

世代間交流と食文化の伝承を目的として恒例の笹巻き作りを莊原保育園・東部保育園で行いました。

前日に笹採りに行きましたが、全国各地で熊の出没が相次ぎ、近隣でも出没のニュースがあり、まさに命がけの笹採りとなりました。

園児たちは、まきの粉を練って団子を作り、笹で巻いていく過程をボランティアのみなさんに教わりながら作っていました。子どもたちからは「おだんご丸めるのが楽しかった」、また、ボランティアのみなさんからは「子どもたちから元気なパワーをもらうことができた」など嬉しい声が聞かれました。



いよいよ  
笹の葉を  
巻いていくよ！



6/21  
(日)

## タウンミーティング



まちづくり部

自主企画事業



6月21日(日)に『こんな町になったらいいなあ! この町にあったらいいなあ!』をテーマに荘原地区内外から24名の方に集まっていただき【荘原勝手にタウンミーティング】を開催しました。今回は昨年の『ばけぱけ荘原』タウンミーティングで新しい荘原を創造しようとした提案を一步進めて、具体的にどうしたらよいのか皆さんに発案していただき、地元選出市会議員さんへ提言しようとする企画でした。私たちの住む荘原、斐川町、出雲市がもっと暮らしやすく生きがいのある街になるために、皆さん真剣に協議され30件の意見が出ました。その中から最終的に(1)荘原駅を中心に気軽に集える場所を創りたい (2)道の駐車場を拡大するなど公園・買い物・食事、斐川三山の景色も楽しめる皆が集まれる場所がほしい (3)自治会の在り方として新しく入る人たちを受け入れる気風づくりが必要 という3つの提言を地元市会議員(樋野、大村)さんに

タウンミーティング参加者の総意として手渡しました。今後の議員活動の中で役立てていただければ幸いです。

11月28日(土)に開催のタウンミーティングでは今回の提言を元に『新しい荘原のまちづくり』としてJR荘原駅・道の駅湯の川、二つの駅のグランドデザイン化について、いろいろな方のご意見を伺いたいと考えています。皆様の声を是非聞かせてください。次回タウンミーティングのご参加をお待ちしています。

7/30  
(木)

## 草木染め体験

自主企画事業



ふれあい交流部

～今年は「茜」(あかね)を使った染め物に挑戦しました～

玉ねぎの皮を使った染め物を令和5年度から継続してきましたが、今年度は何か他の草木染めをしてみようとの案が出ました。そこで、斐川町の木であるヤマモモの実を使って試してみましたが思うような色に染まらなかったため、急遽、染め物でよく使われる茜を使って染めることになりました。

輪ゴムや割り箸を使ってバンダナをデザインし染める工程で、染め上がったオレンジ色がかったピンク色のバンダナに子どもたちは大満足でした。コミセンでの夏の子ども事業のときに毎回髪に飾ってきてくれた子もいます。

暑い夏の日、短い時間でしたが、染め上がったバンダナを手に笑顔で帰る子どもたちの姿を見ると、世代を超えて良き交流がこの夏もできたことを嬉しく思いました。



## 大豆の種まき

自主企画事業

こども倶楽部



毎年「こども倶楽部」は、大豆の種をまき、水をやり、芽が出ると間引きをし、土寄せ、草取りし…と、丹精こめて大豆を育てています。収穫した大豆で、1月末頃に保育園の子どもたちと味噌作りをするためです。

今年は、7月10日に種まきをしました。ところが、その後の成長が思わしくありません。高温で雨の降らない日が突然始まったのが原因だと思われます。同じように世話をしても、天候や種まきのタイミングでこうも違うものだと思改めて実感しているところです。



6/28  
(日)

## 荒神谷古代ハスまつりにて 「ハスカフェ」 喫茶部

今年も荒神谷史跡公園で開催された「古代ハスまつり」に、カフェを出店しました。今年例年よりハスの花の開花が早く、満開は過ぎていましたが、「ハスカフェ」には若い家族連れや年配者など斐川町内外、県外からも合わせて107人の来客がありました。



淡いピンク色のハスの群れ、テーブルに生けた色とりどりの花をながめながら、季節のお菓子(草餅)と抹茶(またはコーヒー)を味わい、束の間ですがおだやかな幸せを感じていただけたのではないかと思います。

「やまものの会」は地域のみなさんとのふれあいと自己研鑽をめざして活動を続けていますが、古代のロマンを感じる荒神谷の自然の中で、素敵なカフェを行うことができました。



女性クラブ  
「やまものの会」



6/12  
(金)

## 温泉津 福光石 石切場視察研修

社会文化部

今年度はやまものの会員24人が、大田市温泉津町にある福光石の石切場へ研修に行きました。

福光石は火山の噴出により、火山灰が堆積した緑色凝灰岩(グリーンタフ)で、16世紀には採石が始まり、当時は手作業から石見銀山の五百羅漢座像など社寺の石仏や墓石に多く使われ、北陸まで流通したとのことです。現在は機械採掘へと連続して行われています。



石見銀山は度々来てはいてもここは始めてです。福光石のスケールの大きさ、悠久の歴史、自然の偉大さに圧倒されながら、坑内の説明に聞き入りました。

次に全国で最大級といわれる温泉津やきものの里へ行き、昔ながらの登り窯を見ることができました。

さらに世界遺産となった美肌と癒しの温泉津温泉の町並み保存地区を散策し、貴重な一日を過ごすことが出来ました。

島根県は東西に長く石見地域は近いようで遠い存在ですが、高速道で便利になり、活発に交流が来ると良いなと思いました。



6/3  
(水)

お待たせ  
しました!

## 廃油石けん作り

環境福祉部



いい感じだね♪

最近のことですが、廃油石けんの売り上げが急に増えて在庫が少なくなってきたため、二年半ぶりに廃油石けん作りを実施しました。

どろんこ汚れがよく落ちると評判のやまものの会の廃油石けんは、実は密かに売れています。購入を希望される方は庄原コミセン窓口までお越しください。なお、諸物価高騰につき、今回作成分より1個150円から200円に販売価格を値上げさせていただきました。



1班  
6/9  
(火)

2班  
6/18  
(木)

3班  
6/26  
(金)



ふれあいサロン  
おいでませの会



## 小学生と七夕交流(1班・2班)

今年も莊原小1年生のみなさんと一緒に、七夕かざりを飾る「七夕交流」を行いました。

詩の暗唱や歌のあと、自己紹介をして、七夕かざりを一緒に作りました。ひらがなを習い始めた子どもたちが、会員さんやボランティアさんに教えてもらいながら短冊に文字を書く様子は、とても微笑ましいものです。

七夕かざりの完成後は「たなばたさま」の歌を参加者全員で歌いました。子どもたちからは元気なパワーを、おいでませの会のみなさんからは優しさを…それぞれに伝えることができた交流になりました。



## ボランティアさんによる楽しい室内ゲーム(3班)



1年生は2クラスしかないので、3班はボランティアさんによる楽しい室内ゲームと体操を実施しました。

ボランティアの轟さんと千代田さんによる室内ゲームや体操は、楽しくてみんな笑顔になりました。

1班  
7/14  
(火)

2班  
7/16  
(木)

3班  
7/17  
(金)



## 現役の 女子サッカー選手に学ぶ 健康教室

山陰ヤクルト販売の広報部に所属し、働きながらディオッサ出雲の選手として活動する恒石亜弓さんにきていただき、『ウン知育教室』を開催しました。

おなかの健康の重要性について学ぶ健康教室とあって、会員・ボランティアのみなさんともに熱心に受講されていました。

後半には、椅子に座ったままできる「腸トレ体操」を覚えてもらい、みんなで取り組みました。



腸トレ体操で楽しく健康づくり!



6/14  
(日)

## 宍道湖・中海一斉清掃

出雲市環境保全連合会莊原支部



小学生も頑張りました

斐川行政センターからごみ拾い道具をお持ちいただきました

6月の環境月間にあわせ、中海・宍道湖沿岸5市で毎年一斉清掃が行われています。出雲市環境保全連合会莊原支部は、例年どおり、斐川しじみ会の皆様と共に、莊原新田下排水機場付近周辺のごみ拾い活動を行いました。6月4日の総会時に環境委員の皆様に参加のお願いをしたところ、約60名もの方に参加していただくことができました。集められたのは、ビンや缶、釣り道具、漂着ごみなどで、全部でゴミ袋20袋分ありました。清掃活動にご参加くださった皆様、誠にありがとうございました。



ゴミ捨てが多いです  
集められたごみたち



# 写真でたどるあの日の荘原

Vol.14

まちづくり部

昭和36年9月 荘原地区民体育大会



- ・荘原地区民体育大会の競技・ムカデ競走の様子。
- ・自治会の皆さんの大声援を受けて力走しています。
- ・荘原小学校旧校舎の様子もわかります。



- ・屋食時には家族や近隣で弁当を囲み、楽しい時間を過ごしたものです。自治会ののぼり旗が写っていますが、当時は自治会のことを「部落」と称することが一般的でした。

「まちづくり部」では、懐かしい荘原の写真などの歴史資料を募集しています。ご自宅に往時をしのぶ写真などありましたら、荘原コミセンまでお持ちください。

9/4  
(金)

## 夏剪定と追肥

## Showバラの会

9月4日、薔薇の夏剪定講座と追肥を行いました。この時期に剪定を行うと、荘原地区文化祭が開催される10月10日頃に見頃を迎えることができます。剪定と追肥、あわせて草取りにご協力くださった「Showバラの会」の皆様、誠にありがとうございました。



下草のオステスペルマムもきれいに整えていただきました

ここを切って  
風通しを  
よくして  
あげて…



福島博さんによる剪定講座

おれ

●ご寄付いただきました

寿昌クラブ荘和会様より、  
タオルのご寄附

荘和会の皆様から、  
沢山のタオルを頂きました。大切に使用させていただきます。ありがとうございます。



●ご寄贈いただきました

株式会社SRE  
卓球ショップ出雲店様より、  
卓球ネットをご寄贈

株式会社SRE卓球ショップ出雲店様より、  
卓球ネットをご寄贈いただきました。温かいご支援、ありがとうございます。

Information

## 荘原コミュニティセンターより

お知らせ

### リサイクルステーション 閉鎖のお知らせ

出雲市環境保全連合会荘原支部

「令和8年度荘原地区文化祭」開催のため、下記の日程でリサイクルステーションを閉鎖します。ご不便をおかけしますが、よろしくお願いします。

閉鎖日：10月10日(土)、  
10月11日(日)、ともに全日

香典返し 金一封

ご寄付御礼

後藤 治生 様(新田上自治会)  
高橋 豊 様(新田下自治会)  
原 宜巳 様(中本町自治会)  
飯塚 泰友 様(綿田原自治会)  
昌子 恵子 様(瀬南自治会)  
お寄せいただきましたお志は、全額を荘原地区内の社会福祉事業に活用させていただきます。誠にありがとうございます。ご寄付は随時、荘原コミセンで受け付けます。